

【優良賞】

発注機関名	須崎土木事務所
工事番号	道交国防安(改築)第9602-004-1号
工事名	国道439号 防災・安全交付金工事
工事場所	高知県高岡郡桺原町影野地
受賞者	岩井建設 株式会社
代表者	森田 豊秋
現場代理人	中越 和進
監理技術者	—
主任技術者	吉門 瑞樹



【表彰理由】

当該工事は、地域の生活道かつ緊急輸送道路に指定された路線での、道路改良に伴う路側側への大型ブロックを施工する工事であり、施工時の通行機能確保が求められる工事であった。

受注者は、施工時の工事用道路に着目し、補強土壁による工事用道路での施工を実践したことにより、作業効率のよい施工の確保と現道通行の確保を同時に実現させるなど、斬新な施工を行った。また、構造物のICT施工を自主的に実践し、精度の高い施工管理を実現するなど、担い手不足を補うICT技術の活用を積極的に行っていることや、濁水対策等による環境に配慮した施工を日頃から行い、現場条件等を把握し事故なく工事を完了させたことは十分に評価できる。(須崎土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	高知土木事務所
工 事 番 号	道交地防安（改築）第101-016-3号
工 事 名	県道南国伊野線 防災・安全交付金工事
工 事 場 所	高知県高知市鏡今井
受 賞 者	高陽開発 株式会社
代 表 者	玉木 大祐
現場代理人	川村 和也
監理技術者	倉光 史朗
主任技術者	—



【表彰理由】

当該工事は、パーチカル曲線、クロソイド曲線、及び横断勾配が複合した線形区間における切土工事であり、土工や構造物の出来形精度が求められるとともに、現道と新道に最大2mの高低差を生じることから、施工中及び施工後における安全な交通解放の形態も視野に入れた施工が必要な現場であった。

施工管理、工程管理に複雑な制約が付される中、ICT技術を積極的に活用し、マシンガイダンス施工等を導入したことで、高精度かつ効率的な施工を実現した。また、3Dモデルを作成し、施工計画を精査することで、幅員が不足する箇所等を予め把握し、対応策を事前に提案するなど、施工上の課題を「見える化」して共有し、的確に対応した結果、施工中のトラブルや手戻りもなく、スムーズな交通開放を実現した。また、擁壁工については、徹底した寒中コンクリート対策が実施されるなど、きめ細かな施工管理がなされ、品質、出来映えともに優れていた。（高知土木事務所）

【優良賞】

発注機関名	中央西土木事務所 越知事務所
工 事 番 号	道交国（改築）第109-010-102号
工 事 名	国道494号 社会資本整備総合交付金工事
工 事 場 所	高知県高岡郡佐川町川ノ内組
受 賞 者	株式会社 晃立
代 表 者	嶋崎 勝昭
現場代理人	武村 尚輝
監理技術者	中澤 智識
主任技術者	—



【表彰理由】

国道494号佐川～吾桑バイパスにおける道路改良工事である。この現場は、上部には国道494号(現道)の狭隘部、下部には民間企業の工業用水施設があり、急峻な地形に加え、河川支川の谷間部に位置し、狭隘かつ大量の地下水と脆弱な土質部であるなど制約が多く厳しい施工条件であるため、安全対策、地下水対策、安全で効率的な出来形管理の実施が課題となっていた。

クレーン作業時の安全対策としては、ブーム先端に高性能カメラを設置し、モニターで確認しながら作業を行うことで安全性が向上。深礎杭施工時の地下水対策としては、湧水に備え事前に遮水層を形成したことに加え、水中コンクリートのトレミー管打設により、坑壁の安定と品質確保を両立。さらに、ICT技術の活用により安全で効率的な出来形管理を行い、高い精度を確保した施工を実現。施工者の責任とプライド、そして強い情熱を感じる見事な土木構造物を造り上げられた。(中央西土木事務所越知事務所)

【優良賞】

発注機関名	中央東土木事務所 本山事務所
工 事 番 号	道交地防安（防災）第107-013-4号
工 事 名	県道本川大杉線 防災・安全交付金工事
工 事 場 所	高知県土佐郡大川村高野
受 賞 者	サクセス工業 株式会社
代 表 者	野村 政司
現場代理人	埴田 真充
監理技術者	—
主任技術者	篠崎 敦史



【表彰理由】

県道本川大杉線の法面工事であり、延長は119m、現道から法頭までの高さ約100m、施工面積は約5,000㎡の広大な法面である。現場には災害対策工事により仮設防護柵が設置され、片側交互通行での通行制限が行われ、地域住民から早期完成が望まれていた。しかしながら、同時期に法面直下で施工される別途工事との施工調整や、工期途中での吹付砕工の大幅な追加施工もあり、工期内完成が大変厳しい状況であった。

工程に関しては、作業人員の増員や、昇降用モノレールを設置し作業の効率化を図ることで工期内に完成することができた。安全に関しては、遠隔カメラを設置し、現場作業を見える化したことで、進捗状況の把握や、パトロールにも活用し、無事故・無災害に繋げることができた。出来形管理については、高解像度カメラ搭載の大型UAV（ドローン）を採用したことで、広大な法面での出来形検測の精度向上や検査の省力化に繋がった。（中央東土木事務所本山事務所）

【優良賞】

発注機関名	中央東土木事務所
工 事 番 号	道交国防安（改築）第602-008-4号
工 事 名	国道195号 防災・安全交付金工事
工 事 場 所	高知県香美市土佐山田町佐野
受 賞 者	株式会社 清水新星
代 表 者	清水 映至
現場代理人	藤本 景子
監理技術者	竹村 稔
主任技術者	—



【表彰理由】

交通混雑の緩和や県東部地域から高知市へのアクセス強化、災害時の救助・救援活動などを支える緊急輸送道路として役割を果たす、国道195号(山田バイパス)の整備を行う工事である。

当該工事において、地山の玉石露出や湧水など脆弱な切土法面の安全対策が課題であったが、現場条件を速やかに分析し、法面保護対策の提案やICT施工、遠隔臨場の活用により速やかな施工を実施することで、安全性の向上に努め事故もなく工事を完成させた。また、山田バイパスの事業全体において発生残土の処分・活用が課題の中、当該工事の現場発生土を有効活用するためには、流用先との工程調整や、発生残土に玉石が混じることなどへの課題に対し、国直轄事業の南国安芸道路及び物部川河川敷の鮎産卵場へ現場発生土を流用するため、各現場責任者と搬出土量や時間調整などを綿密に行ったことや、盛土材と玉石を丁寧に分別することで、現場発生土の有効活用に貢献した。さらには、大型看板の設置やパンフレット配布、清掃活動や祠の移転を通じて地域住民との信頼関係を築くことで、事業の進捗を図る中で重要な、事業への理解や協力体制の構築に大きく貢献した。(中央東土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	中央西土木事務所
工 事 番 号	道交地防安（耐震）第9112-100-0601号
工 事 名	県道横浪公園線 防災・安全交付金（宇佐大橋）工事
工 事 場 所	高知県土佐市宇佐町宇佐
受 賞 者	株式会社 勝賀瀬土建
代 表 者	平良 隼也
現場代理人	田中 秀幸
監理技術者	—
主任技術者	森澤 昌文



【表彰理由】

県道横浪公園線に架かる宇佐大橋橋脚の耐震補強工事である。当該現場は、潮流の速い海象条件の下で、橋梁下面にある航路の安全確保を行った上で、巻立コンクリートの品質を確保することが課題であった。

本工事では、使用する作業船にスパッド付台船を使用することで、アンカーによる航路への影響を排除し、海上交通への影響を最小限とした。コンクリートに関しては、現地の詳細調査を行うことで、塩害による既設橋梁の劣化を的確に把握し、現状に合致した鉄筋防錆対策、ひび割れ対策を実施している。また、使用する鋼材すべてに防錆措置を実施し、流動性の高いコンクリートの使用及び表面養生材の使用等といった対策を実施することでコンクリートの品質を高めている。さらに、地域活動への参加、高校生への課外授業の実施により、地域との相互理解を深めることに努めた。(中央西土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	高知土木事務所
工 事 番 号	地震高潮第53-1-1号
工 事 名	国分川・久万川 地震高潮対策工事
工 事 場 所	高知県高知市布師田
受 賞 者	ジョウトク建設 株式会社／株式会社 津島工業
代 表 者	ジョウトク建設 株式会社 常德 和也／株式会社 津島工業 谷口 香
現場代理人	常德 大祐
監理技術者	吉田 新也
主任技術者	田村 浩志



【表彰理由】

国分川の右岸堤防における鋼矢板を用いた耐震補強工事である。周辺には交通量の多い幹線道路や工業団地が存在し、工事用道路通行時における小石飛散や工事車両への付着による道路の汚損などの粉塵対策が課題であった。

このため、全面砕石敷を提案、実施することで粉塵発生を大幅に抑制し、施工環境の改善に繋げた結果、苦情や事故もなく工事を完成することが出来た。また、コンクリートスパンが広く平坦性の低下が懸念される天端コンクリートについては、施工器具の改良や作業足場に工夫を凝らし平坦性の確保を実現し、出来映えの良い仕上がりとなっている。施工に際しては、ICT技術を導入し工期短縮を図るとともに、高精度の機器を自主的に使用することで精微な測量を行い、高精度の出来形を確保している。

これらについては、受注者からの積極的な提案が行われ、現場を良くしようとする姿勢が強く見られた。
(高知土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	須崎土木事務所
工 事 番 号	道交地（1.5車）第9103-011-1号
工 事 名	県道城川梶原線 社会資本整備総合交付金工事
工 事 場 所	高知県高岡郡梶原町宮野々
受 賞 者	杉本土建 株式会社
代 表 者	杉本 貞雄
現場代理人	上田 和良
監理技術者	—
主任技術者	上田 和良



【表彰理由】

当該工事は、龍馬脱藩の道に繋がる観光道路での道路改良に伴う路側側への大型ブロックを施工する工事であり、施工時の通行機能確保と積雪期までの工事完成が求められる工事であった。

受注者は、積極的な地元調整に努め、地域住民の通行確保と工事箇所の施工性向上を同時に実施し、地元ニーズに合わせた工事を実現させた。また、構造物のICT施工を自主的に行い、精度の高い施工管理を実現するなど、担い手不足を補うICT技術の活用を積極的に行っていることや、地域のイベントに積極的に協力するなど、建設業界のイメージアップに繋がる工事を実現させた。

（須崎土木事務所）

【優良賞】

発注機関名	須崎土木事務所
工 事 番 号	道交国（改築）第9109-005-3号
工 事 名	国道439号 社会資本整備総合交付金工事
工 事 場 所	高知県高岡郡津野町寺川
受 賞 者	有限会社 高橋建設
代 表 者	高橋 幸人
現場代理人	高橋 稔
監理技術者	—
主任技術者	高橋 稔



【表彰理由】

当該工事は、幅員の狭い四国カルストに繋がる観光道路での道路改良に伴う路側側への大型ブロックを施工する工事であり、施工時の通行機能確保が求められる工事であった。

受注者は従前からICT施工を積極的に活用してきた実績があり、当該工事でもICT技術を最大限活用し、懸案であった現道交通の通行確保に向けて、3Dモデルを活用した発注者への提案や作業員全体でICT施工への取り組みを共有するなど、優れた施工が実施された。また、日頃からドローンによる施工状況の動画撮影を行い、工事検査や出前授業等に活用していることや、新技術のイベント等にも積極的に参加するなど、担い手不足を補うICT技術の活用や建設業の普及活動を会社全体で実践していることは十分評価できる。（須崎土木事務所）

【優良賞】

発注機関名	幡多農業振興センター
工 事 番 号	地域ため第5300-303号
工 事 名	四万十1期地区地域ため池総合整備 山の神池堤体改修工事
工 事 場 所	高知県四万十市田野川
受 賞 者	株式会社 竹内建設
代 表 者	森田 純生
現場代理人	山本 拓也
監理技術者	山本 拓也
主任技術者	—



【表彰理由】

防災重点農業用ため池の耐震対策工事である。ため池には進入路が無いことから、堤体下流に広がる棚田農地の借地(A=16,500㎡)を行い、工事用道路(L=767m)や仮置ヤードの設置が必要であった。広範囲に渡る借地に関する調整をはじめ、隣接家屋への騒音対策や、ショウガ畑への粉塵対策等の周辺環境に配慮した取り組みが自主的に行われ、苦情やトラブル等もなく、円滑な工事進捗が図れた。

ため池の堤体盛土については、高い遮水性が求められるため、GNSS搭載の機械を活用した盛土施工を行ない、正確な位置情報により転圧範囲や転圧回数を確実に管理し、均一的でより品質の高い盛土堤体の構築ができた。気象に大きく影響される土工主体のため池工事にもかかわらず、3年以上の工期にわたり無事故で工事を完成した。地域住民をはじめ、受益農家への細やかな配慮を行い、適正かつ丁寧な仕事ぶりであった。また、地元要望を受けて、ため池管理道の拡幅整備を行う等、地域貢献にも積極的に取り組み、集落営農組織や周辺住民から多くの感謝の声が届いている。(幡多農業振興センター)

【優良賞】

発注機関名	須崎土木事務所
工 事 番 号	砂防第 29-1 号
工 事 名	犬ヶ谷川 通常砂防工事
工 事 場 所	高知県高岡郡津野町芳生野乙
受 賞 者	株式会社 谷渕組
代 表 者	谷渕 成
現場代理人	藤本 陽一
監理技術者	—
主任技術者	谷渕 司

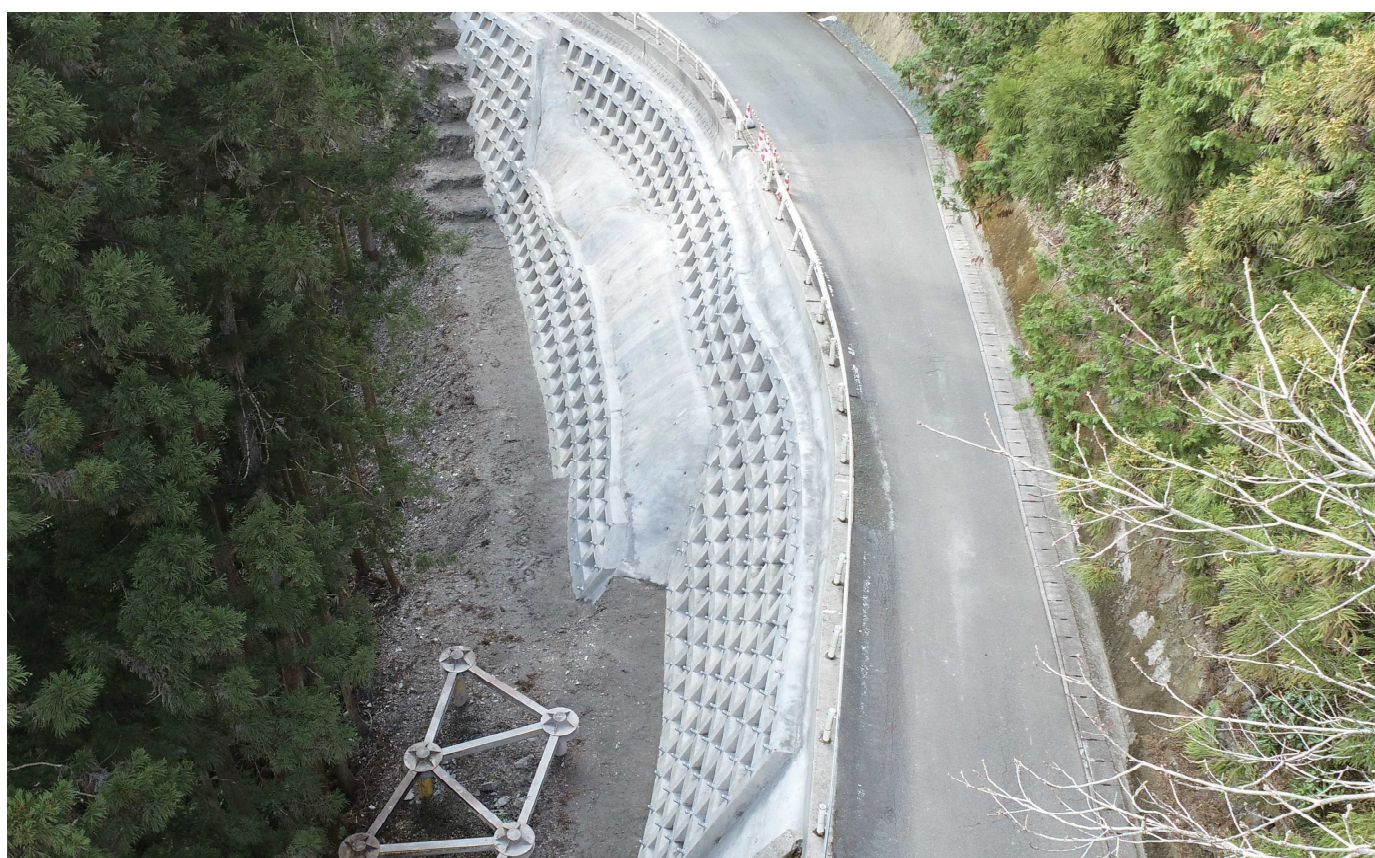


【表彰理由】

荒廃した犬ヶ谷川における砂防ダムを建設する工事である。当該工事箇所への工事車両の通行経路は狭隘な町道で小型機械やケーブルクレーンによって施工する計画であったが、自社提案により堰堤下流に仮設栈橋を設置することによりICT建機や用途に応じた機械を搬入することが可能となり施工性及び作業効率の向上が図れた。また、堰堤の施工の安全性に係る地盤の地質状態の把握や状況に応じた対策の検討のため、専門技術者を配置することにより専門的な観点から基礎地盤を判定・評価、また危険箇所・作業の有無を積極的に把握することで安全性が向上し、事故なく施工が行えた。ICT土工・法面工を実施することにより、3次元計測による省力化、出来形の過不足を容易に把握など、測量・施工の両面で省力化が図れ、高い精度の出来形管理を確保することができた。(須崎土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	中央東土木事務所 本山事務所
工 事 番 号	道交国防安（改築）第9113-010-1号
工 事 名	国道439号 防災・安全交付金工事
工 事 場 所	高知県長岡郡大豊町川井
受 賞 者	株式会社 長重建設
代 表 者	佐古田 光昭
現場代理人	中山 裕全
監理技術者	藤原 正豊
主任技術者	—



【表彰理由】

国道439号の路側における吹付法砕工及び鉄筋挿入工の道路改良工事である。施工区間は狭隘で交通量も多く、時間規制による施工が不可欠であった。現道は地すべりによる変状が著しく、掘削に伴う現道への影響が懸念されるため、現道の機能を維持したうえでの施工が重要課題となっていた。

交通確保の対策として、路肩側に盛土を行い作業スペースを確保することで一部作業で片側交互通行での施工が可能となった。掘削に伴う現道の崩壊対策として、路側へ枕土のうを敷設、波状管により施工箇所の雨水を速やかに排水するなどの工夫により法面の浸食を防止した。工程に関しては、作業体制を見直し、吹付業者、ボーリング業者の2班の施工を可能にしたことで約2ヶ月間の工期短縮を図ることができた。ICT技術や遠隔臨場を活用し作業効率の向上を図るとともに、出来形は規格値の50%以内と精度の高い施工管理や、現場周辺の清掃作業で地域貢献ができていた。（中央東土木事務所本山事務所）

【優良賞】

発注機関名	幡多土木事務所 宿毛事務所
工 事 番 号	耕津緊第 42-3 号
工 事 名	大深浦海岸 津波対策緊急工事
工 事 場 所	高知県宿毛市大深浦
受 賞 者	福寿建設 株式会社
代 表 者	福寿 秀剛
現場代理人	谷口 翔
監理技術者	—
主任技術者	安田 大



【表彰理由】

当現場は、長期浸水対策による海岸堤防工事で、中学校や住家が隣接しており、それらに配慮した施工が必要な現場である。

工事中の振動、騒音対策を徹底し、定期的なボランティア活動や広報誌配布など、積極的に地域の方とコミュニケーションを図り、良好な関係の構築に努めた。また、測量が省力化される自動追尾型測量機(杭ナビ)やICT擁壁工を活用することで管理頻度を増加させ、工事全体で出来形の精度向上を図り、外部講師による安全教育やバックモニター増設重機の活用など、工事全般にわたり技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。(幡多土木事務所宿毛事務所)

【優良賞】

発注機関名	高知土木事務所
工 事 番 号	連携第2-5号
工 事 名	下田川 事業間連携（その7）工事
工 事 場 所	高知県高知市五台山
受 賞 者	福留開発 株式会社
代 表 者	大場 将史
現場代理人	山本 翔太
監理技術者	佐竹 寿雄
主任技術者	—



【表彰理由】

下田川の右岸堤防における鋼矢板を用いた耐震補強工事である。工事区間は、バス路線となっている交通量の多い県道に隣接することから、非常に狭小な作業ヤードでの安全かつ効率的な施工が課題となった。

課題の解決を図るため、仮設計画を見直し、河川側に設置する作業用足場をキャットウォーク足場(作業床幅600mm)」から「くさび緊結式足場(同1300mm)」に変更し、さらに、組立後の鉄筋上に打設作業用足場を設置することで、作業の安全性と効率化を図った。また、パラペット付擁壁の施工にあたっては、誘発目地の設置やコンクリートの配合変更を自主的に実施し、品質の高いコンクリート構造物を完成させた。工事区間は青柳中学校の通学区域となっていたこともあり、同校を対象に工事内容等を説明するとともに、ICT技術を用いた測量や重機運転の体験会を実施することで、工事に対する理解と建設業の魅力や日常の安全を支える社会的役割を伝えることにもつながった。(高知土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	高知土木事務所
工 事 番 号	道交地防安（交安）（債）第105-050-2号
工 事 名	県道田村高須線 防災・安全交付金工事
工 事 場 所	高知県高知市介良甲
受 賞 者	株式会社 富士建設工業
代 表 者	田内 直人
現場代理人	小林 義忠
監理技術者	—
主任技術者	小林 義忠



【表彰理由】

耕作地に隣接し、河川が並走する区間における狭隘な現道の拡幅工事である。地域の生活道路(高知市道)との交差点や河川、用水路の付け替えを含む工事を、耕作期を避けて実施する必要があるなど、制約条件が多く難易度の高い工事であった。

受注者は、周辺道路や耕作地、用排水路の利用形態を踏まえて施工計画を立案し、迂回路や施工ヤードを確保する提案がなされるなど、種々の課題を克服しながら、工期内の施工を達成した。コンクリート工については、施工時期の制約により冬期施工が不可避であったが、養生方法や温度管理を徹底し、丁寧な施工がなされた結果、品質・出来映えともに優れた構造物を作り上げた。また、市道の暫定的な付け替えの際には、案内チャシの配布や夜間の常時照明の設置により、利用者が迷わないようきめ細かな配慮がなされ、苦情や事故も無く、安全に工事を実施した。(高知土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	高知土木事務所
工 事 番 号	地震高潮第53-2-1号
工 事 名	国分川（大谷川）地震高潮対策工事
工 事 場 所	高知県高知市一宮南町
受 賞 者	ミタニ建設工業 株式会社
代 表 者	三谷 剛平
現場代理人	中西 純也
監理技術者	森下 哲二
主任技術者	—



【表彰理由】

大谷川左岸堤防における鋼矢板を用いた耐震補強工事である。当工事区間に接続する周辺道路は狭隘で、通学路にもなっており、資材・大型建設機械の搬入出ルートや転回場所が課題となった。

課題に対して、仮設計画を見直し、安全対策を自主的に実施するなど、積極的に解決を図った。施工にあたっては、土工のほか、鋼矢板施工においてもICT技術を自主的に採用し、全数の圧入深度や変位データをリアルタイムに計測しながら、効率的に高精度な施工を実現した。また、鋼矢板とタイロッドで拘束された笠コンクリートのひび割れ発生が懸念されたが、入念な打設計画と養生により品質の良いコンクリート構造物を完成させた。さらに、計7回の現場見学会開催や適時のチラシ配布など、人材育成と工事へのイメージアップにも尽力した。（高知土木事務所）

【優良賞】

発注機関名	須崎土木事務所
工 事 番 号	砂防第30-1号
工 事 名	御手洗川 (2) 通常砂防工事
工 事 場 所	高知県須崎市赤崎町
受 賞 者	有限会社 三本建設
代 表 者	三本 和久
現場代理人	野口 英幸
監理技術者	—
主任技術者	野口 英幸



【表彰理由】

荒廃した御手洗川における砂防ダムを建設する工事である。当該工事箇所への工事車両の通行経路は狭隘な市道で住宅地を通行するため一般市民の安全対策が課題であった。

近隣の住宅への戸別訪問説明や工事内容の拡大掲示、車両の通行予定の事前周知を行い、道路利用者に寄り添った安全対策を行った。また、経路上の注意箇所マップを作成し全ての関係者に安全運転の徹底を周知し、安全意識の向上に努めた。本堤工の出来形精度の対策として、1リフト打設完了毎にダム軸ラインを打設完了面にプロットし、下げ振りを使用して型枠位置の微調整を行うなど、細部まで丁寧な施工を行ったことから、出来形及び出来ばえが良好であった。狭隘な現場条件であることから、近隣に10tミキサー車から4tミキサー車へ容易に積み替えれる場所を準備することで生コンクリート打設までの時間ロスを最小限に抑えられ、連続した打設により品質確保に取り組んだ。(須崎土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	安芸土木事務所
工 事 番 号	大規模第51-2号
工 事 名	安芸川 大規模特定工事
工 事 場 所	高知県安芸市栃ノ木
受 賞 者	株式会社 山本建設
代 表 者	山本 剛平
現場代理人	白石 貴久
監理技術者	—
主任技術者	寺岡 繁忠



【表彰理由】

安芸川左岸の護岸工事(道路兼用)であり、平成30年7月の梅雨前線豪雨及び台風7号の洪水により、大きな被害を受けた安芸市栃ノ木地区で初となる築堤工事である。住民の期待が大きい一方、工事による生活や地域の基幹産業であるゆずへの影響が心配されており、工事に対する住民理解の醸成、現場に隣接するゆず畑への配慮、工事中の内水対策が課題となっていた。

このため、工事に先立ち、地域住民への説明や隣接地権者への聞き取り等を実施し、特に心配されていた工事中の害獣対策では、本体着工に先立ち、強固な防獣・防塵ネットを設置するなど、住民生活への影響を抑える工夫を行い、苦情なく工事を完成させた。また、施工性や精度を向上させる工夫により、高い品質での施工を行うとともに、地域の中学生への現場見学会でのドローンやICT活用の説明等、建設業の担い手確保のための取り組みにも努めた。(安芸土木事務所)

【優良賞】

発注機関名	幡多土木事務所
工 事 番 号	道交地防安（1.5車）第9103-041-1号
工 事 名	県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事
工 事 場 所	高知県幡多郡黒潮町川奥
受 賞 者	山本建設 株式会社
代 表 者	山本 浩司
現場代理人	打井 幸一
監理技術者	伊勢脇 祐花
主任技術者	—



【表彰理由】

県道秋丸佐賀線における1.5車線の道路整備事業である。工事箇所は、四万十町の国道381号と黒潮町の国道56号を結ぶ地域住民の生活道路のみならず、地域の幹線道路であるため、中山間地域の県道としては交通量の多い道路であるが、幅員が狭く、掘削や現場打擁壁工の作業効率低下やコンクリートの品質確保、通行規制による道路利用者への影響が課題となっていた。

このため、ICT技術を活用し、3次元データ作成を自社で行い、事前に現場状況や疑問点を適切に把握するフロントローディングを行うなど、作業の効率化が図られた。また、コンクリート打設に関しては、独自の講習会や適切な再振動時期の試験、透水性型枠用シートの使用を独自で行い、高品質で出来ばえも仕上がりととなった。更に、大きく分かりやすい垂れ幕の設置や交通規制を通行車両の状況により臨機応変に対応するなど、無事故で苦情も無く工事を完成させた。（幡多土木事務所）

【優良賞】

発注機関名	安芸林業事務所
工 事 番 号	流域保全第 201-1 号
工 事 名	魚梁瀬 No.2 流域保全総合治山工事
工 事 場 所	高知県安芸郡馬路村魚梁瀬
受 賞 者	湯浅建設 株式会社
代 表 者	湯浅 雅喜
現場代理人	村上 弘晃
監理技術者	—
主任技術者	西内 孝昌



【表彰理由】

当該工事は崩壊下部へ谷止工1基、上部へ向けて山腹工として土留工3基、簡易法枠工による法面保護工を計画し、当年度は谷止工1基と崩壊法面の最上部へ簡易法枠工を施工する工事であったが、工事期間中の再三に渡る上部からの崩落により計画変更を余儀なくされ、完成施設は簡易法枠工のみとなった。幾度の崩壊により関係機関との協議に時間を割かれ長期の工事となった。現場は携帯電波の入らない地域であったが自社独自の衛星通信機「スターリンク」を導入することで遠隔臨場を可能とし電波障害の課題解決を実現した。またICT測量を活用することにより度重なる山腹崩壊にも瞬時に図面作成が出来、工法検討に効果を現した。さらに、中学生に職場体験の場として提供し、普段触ること無い無人高所掘削重機のリモコン操作を体験してもらい地域の担い手育成への啓蒙を積極的に図った。(安芸林業事務所)